

羽曳野市学校図書館ニュース 第27号

令和4年 8月発行:羽曳野市学校司書会

中学校図書館、大特集!

中学校では平成18年から2校配置で定期的に司書が入り、現在は高鷲中学校と高鷲南中学校に配置されています。(小学校は平成8年から司書配置がはじまり、現在は全14校に専任配置。)

高鷲南中 中1国語『トロッコ』芥川龍之介 ~隣の文豪さん~

堅いイメージの文豪に親しみを持てるエピソードや作品などを案内しました。文豪の大好きな食べ物はどれでしょうかクイズ、感染症と文豪、戦争と文豪、そして生徒が作成した『走れメロス』の数学的研究レポート「メロスの全力を検証」など、関連資料を紹介。



森鷗外の好物、食べてみて?

展示で 部活を応援!!
技術面だけではなく小説も



新刊&おたより紹介本コーナー

こんな利用もあります!

- ・委員会活動への支援
 - 「本の紹介ポスター」
 - 「本の福袋」
 - 「本だなジャングル」(掲示)
- ・分類指導 本の歴史
- ・ブックトーク例
 - 「雷とSDGs気候変動と防災」
 - 「世界のクリスマス」
- ・授業での活用例
 - 「おためし読書(味見読書)」
 - 「国調べ」「平和」等

高鷲中 ~洋書絵本の多読を体験しよう~

目的 多読により、英語語彙と触れる量を増やす。 令和2年度実践
絵本を使うことでイラストから大体のストーリーをつかみ、単語の意味を推測する。

- 洋書多読の三原則
- (1) 辞書を引かない
 - (2) わからないところは飛ばす
 - (3) つまらなくなったらやめる



各机に配布した10冊のORT絵本(※)を10分間読めるだけ読んで、プリントにタイトルと点数を記録していく。※ORT:Oxford Reading Tree

峰塚中・誉田中・河原城中 校区支援 を行っています

先生からの依頼を受けて

司書配置のない中学校に、校区内の小学校の司書が必要に応じて図書館活動の支援を行っています。



- 「書誌登録の方法がわからない。」
- 「廃棄ってどうやるの?」
- 「ブックナーってどうやって巻くの?」
- 「どんな本を買ったらいいか悩む。」
- 「市立図書館の連絡便って、どうやって使うの?」

こういった中学校の先生の疑問を解決するために、依頼があれば、校区司書が中学校へ出向いて支援を行っています。



夏休みに先生と校区の司書で図書館作り!

「本棚のギュウギュウ詰めを解消したい。」
→廃棄本の選別と廃棄作業

「2つめの出入口を使えるようにしたい。」
→通リやすく整理し、部活関係の雑誌を展示

はびきの殖生学園

学園には2つの図書館があります。前期図書館と後期図書館の2館に分かれていることで、児童と生徒の発達段階に応じた本の提供や関わりが可能です。

後期図書館では、今年度以下の利用がありました。
*冊数は先生の希望に応じて準備しています。



3階に 後期図書館(7~9年生)



2階に 前期図書館(1~6年生)

7年生	4月	理科	植物図鑑 14冊
8年生	5月		【キャリアパスポート】職業体験・仕事調べ 55冊 『13歳のハローワーク』25冊(高鷲南中所蔵)
	5月	家庭科	旬の食べ物について 26冊、お弁当の献立 26冊
	6月		【宿泊学習事前調べ】サイクリング・カヤック・メタセコイヤ・琵琶湖
委員会	7月	家庭科	1食分の献立を考えるためのレシピ本 26冊
	6月		(保健環境委員会)熱中症について 8冊
先生	6月		(指導前の事前勉強)たばこ・アルコールについて10冊

おこりんぼうな子

怒りのコントロールが難しい児童目線で、「ふつう」の気持ちが描かれている。



『NHKふつうってなんだろう？えほん ぼくのなかにはおこりんぼうがいます』
ユウセイ/語り ミズミヨシコ/絵
NHK「ふつうってなんだろう？」制作班/編
ほるぷ出版

絵本 1ページ2,3行なので、読み聞かせしやすい！
(2分30秒)

「忘れ物をしたときは、どうすればいいか考えよう」という先生のメッセージと、ピンチを乗り切ったあとの前向きさが良い。

絵本 読み聞かせしやすい
長さ(約5分)

わすれんぼうな子



『わたし、わすれものがおおいです。』
くすのきしげのり/作 のしきやか/絵
東洋館出版社



『二年二組のたからばこ』山本悦子/作
佐藤真紀子/絵 童心社

2年2組には、なんでもすぐに落としてしまう「たからくん」の落とし物を拾ったら入れる「たからばこ」がある。クラスには、たからくんのことをものを大切にしない、へんな子だと思っている子もいるが!?

よみもの 教室で少しずつ読み聞かせるのに良い!

子どもの心によりそう絵本

そっと手渡したい1冊



だれにでも苦手なことがある!

好きなことでも苦手なことでも、自分自身がそのことを理解しておくことの大切さがわかる。



『すきなことにがてなこと』
新井洋行/作 嶽まいこ/絵
くもん出版

絵本 文字数は少なめで読み聞かせしやすい!(約4分)

見方をかえれば...

マイナスな言葉をプラスな言葉にひっくりかえてみよう。

「うるさいなあ」
↓
「元気にもりあげてくれているんだね!」

絵本 15cmの小型絵本なので、少人数の読み聞かせ向き!



『ひっくりカエル!』
安部博志/作
内田コーイチロウ/絵
小学館

絵本 子どもたちとやりとりしながら読み聞かせできる!



『こころってふしぎ ちくっふわっ ことばのまほう』
岡本泰弘/監修 松本奈緒美/絵
少年写真新聞社

思ったことを口にする前に、それがちくっすることばかどうか考えてみよう。

発達障害を抱えるまいちゃんの行動をひとつひとつ丁寧に解説してくれている。みんながりのままでいられるための「まほうのくふう」はどんなのがあるかな。



『新装版 つながろ! ながてをかえる? まほうのくふう』
しまだようこ/作 井上雅彦/監修
今井印刷

絵本 文字数は少なめで読み聞かせやすい!(約5分)
最後に解説付き。

「学校なんて行きたくない。みんなと同じようにできない。」と感じている子に手渡したい絵本。「人と違っていいんだよ」というママの言葉が素敵。



『みんなとおなじくできないよ 障がいのあるおとうととボクのはなし』
湯浅正太/作 石井聖岳/絵
日本図書センター

小児科医である作者が実体験をもとにつくった絵本。障がいのある弟をもつ兄の視点で描かれている。

『青い花のえかきさん』
ソーニャ・ハートネット/文
ガブリエル・エヴァンス/絵
みらいなな/訳 童話屋



『ぼくは川のように話す』
ジョーダン・スコット/文 シドニー・スミス/絵
原田勝/訳 借成社

「ぼくにはうまくはなせない音がある。」
“流れるように話す”とはどんなことか。
美しい絵と一緒に。